

小平市議会 市民と議会の意見交換会(議会報告会)

※ 議会は合議体であり、内容によっては議決が必要なものもあり、要望や個別的課題についての回答は決定事項ではありません。

種類 [質問、意見・要望]

平成27年11月6・7・8日開催

種類	内 容	議会報告会での回答
○ テーマについて		
<SOS！今、必要な見守りとは－ 花小金井北地域センター>		
意見・要望	学園西町に住んでいるが、近隣では107歳の認知症の方を80歳の女性が介護している。要介護認定の判断が行き届いていない。支援は受けているが金銭面で負担感がある。介護家族へのカウンセリングセラピーがあればと思う。チームでのケアが最も必要と感じる。介護システム以外の負担は家族にかかる。心の問題をどう解決していくかが今後の重要課題だ。周りには高齢者が多く災害時の避難訓練はどうなっているのか。孤立化の傾向が大きくなっており、コミュニティ社会を市民と一緒につくっていくべきである。	学園西町は町会としても大きく、課題の一つとして高齢の方が多いということがある。今後も課題を共有していく。11月28日には避難訓練が開催される予定である。
質問	自治会の役員をしているが、高齢者がどこのお宅にいるのかわからない。具合が悪く閉じこもっている方も多い。認知症だとかみの出し方もわからないと思う。地域で助けたいと思ったときに緊急の連絡先など共有したいが、プライバシーなどの問題を含めてどうしたらよいか。	孤独死で亡くなっている方がいる。ごみ出しなどでのさりげない声かけや、民生委員児童委員の方に見守りしてもらっている。プライバシーの問題など厳しい時代になっている。行政の事業としても災害時要援護者の登録制度などさまざま打ち出しているが周知にジレンマを感じている。災害時要援護者として現在2,877人が登録されているが、この制度を知らない人がたくさんいる。ぜひ帰ったら見守り事業があることを地域に紹介してほしい。近隣でネットワークをつくっていくことが市民のコミュニティになると感じている。
質問	ある地域では「おせっかい隊」という事業がある。小平市としても実施していくべきではないか。	それぞれの地域には地域包括支援センターがあり専門職員がいるので、その職員が駆けつける。地域の動きをきちんと伝え、孤独死にならないようどのようにつなげていくかが課題である。
意見・要望	自治会の会長をしているが、市民の自治会加入率が低い。家具転倒防止器具の取り付けを消防にお願いしたりなど、高齢者の見守りを自治会が率先して行っている。高齢者問題は自治会や市民がやらないと解決しない。	
質問	困っていてもなかなか助けを求めることができず、また助けてほしい人がわからない。21世帯の小さな自治会に加入しているが、スマートフォンの災害アプリを利用している。地域で誰がどこに住んでいるかや子どもが何人いるかを把握しているが、公民館や地域センターを利用して見守り活動ができればよいと思った。昔あった協力員制度があればよい。いろいろな世代がかかわって、緩やかな見守りなど小平市は隣の方を見守る市ということを打ち出してほしい。	地域で伺った話だが、一人暮らしのご高齢者宅のポストに新聞やチラシがたまっていて、近所に住んでいる子育て世代の家庭の子どもが声をかけることで周りとのコミュニケーションをとるようになった。介護や見守りは高齢の方が高齢の方を見守るというイメージである。これからは、子育て世代や若者を見守る側として巻き込んでかかわっていくシステムが課題と感じる。11月に自主防災訓練を行うので、いろいろな方に参加を促したい。介護予防見守りボランティア事業という事業に現在203人の登録があり、登録の意識があれば使命感も湧いてくる。
<これからの行政サービスについて 津田公民館>		
質問	デジタルデバイドのセキュリティについての市議会の見解は。	議会としてはしっかりやるという考え。具体的な運用は執行機関である市が行う。 ※デジタルデバイド… インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。
質問	特別支援学級にタブレット情報端末の導入を進めていると思うが、ブルーライトの生体安全性の検討はどうなっているか。	専門的で難しいが、機器で保護をしているのではないと思う。
質問	ICTのリスクとは何か。	場面ごとに異なるが、誰もが使えるようにすることが、果たしてどこまで可能かということがある。使えない人との標準をあわせる事が大切である。

種類	内 容	議会報告会での回答
意見・要望	納税意識の啓発を図るための冊子の話が合ったが、市民の税金の納得性の向上のために、市民協力の広報活動で協力したい。	
意見・要望	縦割り行政の弊害解消に取り組んでほしい。	
質問	オープンデータに取り組み、小平市の人口を確保するために生かせると思うのだが、ICT推進について、人との介在が少なくなるというのが気になるがその点はどうか。	手と手のつながりを大切にしてほしいという気持ちの方も多いと思っている。しかし、市の財政は厳しく、人口減少などの状況の中でICTの活用は欠かせない。デジタルでなくアナログで進めるものも大切にしなければならない。紙ベースでの伝達も必要だと思っている。
質問	ICTとは何か。略語はわかりにくい。よく「詳しい事はホームページを御覧下さい」とあるが、パソコンがないと見られない。全ての国民がパソコンを持っているという認識に立っているのか。	市報等に載せたり、チラシを配ったり、電話でも答えている。全て同じレベルの情報載せている。HPが見れない方にはチラシや電話などで対応する。 ※ICT (Information and Communication Technology インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) … 情報処理および情報通信の総称。コンピュータやネットワークに関連する技術・産業・設備・サービスなど。
意見・要望	電話による情報の伝達には電話料金がかかるが、フリーダイヤルはないのか。	
意見・要望	にじバスは150円で、なぜ西武バスや立川バスは180円や200円なのか。市役所に行って聞いても検討中との説明が繰り返される。この金額の差は何なのか。	
質問	性的マイノリティへの行政サービスは何かあるか。	渋谷区や世田谷区の事例は認識している。小平市では具体的なものは無い。
質問	本日報告のあった視察でどれぐらい費用がかかったのか。	実績として、1人おおよそ8万円であった。
意見・要望	一番心配していることは、高齢者ばかりの町になることである。小平市は投票率が低く、静かな人が多い。またボランティアは多いが、専門職ではないので方向性が違ってしまふ。	
意見・要望	福祉会館も建て直さないといけない。なかまちテラスは宇宙ステーションみたい。なぜあのようなものをつくったのか。この町にふさわしい税金の使い方を。幼稚園や保育園の補助を行い、若い人の住みやすい町に協力をお願いしたい。	
質問	地方創生関連法成立後、小平市に課題が課せられている。市の対策の第一歩などをどのようにしているのか。地域創生の総合戦略プランが言われている。今、ポイントとなっていることはどんなことか。市民と協働するのは地方自治法の趣旨である。	小平市の合計特殊出生率は1.2以上で、東京都全体よりは上であるが少子化傾向。最大のポイントを明確には言えないが、より子育てをしたいと思える社会全体の仕組みをつくる必要がある。健康寿命を延ばすこと、介護によって仕事をやめることをなくすこと、高齢者も子育てに入れる仕組みをつくっていくことが重要だ。人口減少は目の前に来ている。少ないお金で効率的によりよい市民サービスができるために、何が必要なのかを考える。

種類	内 容	議会報告会での回答
質問	収納率向上の取り組みについて、小平市の収納率はどれぐらいで、金額はどれぐらいか。どういう人が納めていないのか。納めていない人にPRをしても意味がないのではないかと思う。	市の一般会計歳入予算がおおよそ600億円で、そのうち市税が50%を占めている。全体の収納率は97%である。滞納の要因には、納め忘れ、納められない、収入が少ない、年金だけ、または年金すらないなどがある。年齢層で言うと高い方々。納めてもらうための取り組みとしては、通知を送る、電話で催告をするなどを行っている。お金があるけど納めない人に対してはきちんと対応する必要があるが、納められない人へのセーフティネットも考えるべきということ視察などを通じて改めて学んできた。
質問	自治会の加入率が低下しているが、行政のバックアップとして、加入促進についての議員の考えは。また地域連絡会について、横の連携と自治会の役割分担をどう考えるか。	新しい世帯を取り込むことや、新しい人たちが新たな自治会をつくることも必要だと思う。自治会のよいところを知ってもらうことで増えるのではと思っている。横の連携に関しては、学校や消防等との横の連携をつくるといった考えや、自治会と一緒にするといった考えがある。自らやろうという人がいないのが現状であり、どんどん声をかけてやっていく必要がある。地域連絡会の中で役割分担を模索している。
質問	なぜ2泊3日と時間をかけて遠くまで行って視察をしなければならないのか。日野市や府中市など同じような財政規模、人口規模等の近場でもいいところがあるのではないか。	貴重な御意見として承りたい。近隣市には日帰りで行っている。
質問	マイナンバー制度について、情報が流出する事態になったとき、誰がどのような形で責任を取るのか。政府の責任だが市としてはどうか。国勢調査も個人情報情報を乱雑に扱っていることを考えると責任の所在を明確にすべき。	情報リスクをどうやって防ぐのかを確認する役目は議会にもある。最終的な責任は総務大臣にあると思うが、具体的に責任を取るのかはわからない。市長が取るかもしれないが、それは市長が決めることである。マイナンバーのネットワークは専用回線を利用するため、インターネットのレベルで流れるものではない。厳格に管理をするもの。万が一を考えてせめぎ合いを追求する。
質問	税収のことや地域主権について考えたい。請願について、どのようなものがあるのか教えてほしい。	地域主権に関連することなどは国に意見書を上げている。国がさまざまな権限移譲を市にしているが、それを市民サービスに牽引をすることが議会の仕事。現在の高齢化率が22%以上で、今後ますます少子高齢化が進む。生産年齢人口が減り、税収が下がり、民生費が上がる。高齢者対策をどうするか。待機児童数178人などの現状を捉えながら、次の世代の施策を考えなければならない。歳入歳出のバランスを考える必要がある。
質問	地域主権に関して、市民協働をどう進めるのか。	基礎的な意味で非常に重要な問題。地に足をつけて、仕組み、システムをつくらないといけない。
意見・要望	小平市は「便り」などのお知らせが多い。サークルが多い。人間が冷たいのか、ぼんやりしているのか、のんびりしてしまう。行政サービスは悪くない。	
意見・要望	保育園の夏季休暇期間中に、自宅での保育を依頼された。子ども・子育て支援法等による動きなのかと警戒している。	
＜自転車が似合う小平のまちづくり 上宿公民館＞		
質問	自転車が似合う小平のまちづくり、よいことだと思うが、当たり前前のが当たり前になるようにすることが大切。子どもは周りの大人の行動を見てお手本にする。マナーを守ることを徹底させるためにはどうしたらよいと思うか。	警察によると、違反しているときや危険なときの注意はオーケーである。注意することによって身の危険を感じるときはやめる。でも注意しないよりはしたほうがよい。中学校ではスケアードストレイト方式の教室を行っている。自転車の安全マナー教室を受けてほしい人に受けてもらうためには、声かけが大切だと思っている。
質問	小平都市計画道路3・4・23号線は東大和市、小平市、立川市と市をまたいでいる。自転車ナビマークは統一してつけたほうがよいと思うがどうか。	各市が交流して一緒に視察をし、統一してマークをつけたほうがよいと思う。

種類	内 容	議会報告会での回答
質問	自転車のマナー教育について、小学校、中学校、高校、大学と、どのあたりまで行っているか。	義務教育ではおそらく行っている。道路交通法の冊子は全校配付になっている。一般向けには新東京自動車教習所で交通安全教室を実施している。また市の担当者が大学に伺い話したりもしている。
質問	自転車のことだけでなく、行政と議会の協働の関係をどのように築き、将来に向けて検討していくか。市民、事業者の活動がうまく回っていくことが大切だと思うが、行政と議会の連携をわかりやすく市民にフィードバックできるようなことをやってもらいたい。	私たち議会もそうだが市民の参加が必要。市民が参加するよう議会から行政に働きかけていく。よい点を伸ばしていくことは大切だが、同時にチェックすることも大切。議会は議会として先進市に学び、行政とともに取り組む。
質問	小平都市計画道路3・2・8号線の件について、小平市だけ遅れている理由は。	都市計画の整備、都道の整備を含め小平市の整備率はまだまだ低い。都市計画はいろいろあって、下水、区画整理、公園、その中の道路の位置づけだが、小平市としては優先として下水道をやってきた。全国で13番目に下水道整備完了都市となり、汚水の処理率は100%になった。道路の整備率は近隣の中では低いことになっている。東京都として整備計画は第三次の事業化計画までつくられている。10年単位で今は第四次の10年計画、歩道を含めた都道、どのように整備していくか策定中。
意見・要望	たまに自転車に乗る人などは、標識がないと勝手に動いてしまう。新しいルールをわかりやすく伝えてほしい。	
＜安心・安全のまちづくり「防犯について考えよう」 上水南公民館＞		
質問	防犯について、外国人犯罪についてどのような見解を持っているか。文化摩擦など起きやすい状況の中で、市及び市の職員、議員はどのような関心を持っているか。	小平市は労働者というよりは留学生が多い。市内で外国人犯罪が多発しているという認識はなく、犯罪の根源という認識はない。
意見・要望	市内には4千人を超える外国人がいるが、日本人より犯罪率が高いように感じる。公共の看板の外国語表記などは取り締まってほしい。	
意見・要望	一橋学園駅南口の交差点について、危険な交差点であると認識している。警察と市で管轄は分かれると思うが、早急に是正してほしい。	一方通行出口にあたり、踏切もあるのでなかなか信号機がつけられない。警察にも現場を見てほしいと思っている。
意見・要望	第四小学校の近くの横断歩道で車を止めたところ、脇道から自転車の女性が突っ込んでくるという事件があった。子どもの安全という観点からも自転車の乗り方が大変危険である。警察とも協議の上対策を取ってほしい。	子どもの安全という部分では生活文教委員会の所管であり、スクールガードの側面から考えられる。
○ その他(市政全般について)		
＜花小金井北地域センター＞		
意見・要望	10年後の市の取り組みとして健康寿命を向上させることが重要である。これは医療費を減らすことにもつながる。健康寿命の取り組みを要望する。	三条市のスマートウェルネスを視察してきた。「歩く」ことを重点に置いている。小平市は歩くことに適している市と感じている。
意見・要望	障害者差別解消法に関連して伺いたい。職員採用について、採用試験を点字でも受けられるようにすべきと思うが考えてほしい。	
質問	介護保険で要支援1、2が介護保険から外されるが、その辺の進み具合について聞きたい。	介護保険制度の改正により、要支援1、2の介護給付は自治体が独自でつくる事業となる。小平市では平成27年3月に地域包括ケア推進計画が策定され、具体的な内容は今話し合われている段階である。生活支援コーディネーターやNPO団体などが身近な支援をつくっていく準備をしている。

種類	内 容	議会報告会での回答
意見・要望	介護保険のサービスを福祉サービスのよいところを加えて充実をお願いしたい。目が見えない人に対して進捗状況など情報がきちんと伝わるように、周知をお願いしたい。	
意見・要望	喜平保育園、津田保育園の通園門がいつも開いている。チェーンロックをつけるべきと思うがセキュリティをどう守っていくのか。行政に言っているがまだ回答をもらっていない。	
＜上宿公民館＞		
質問	政務活動費の使い方について何か議論はあるか。	議会改革の流れの中で、公開し、市議会だよりでも報告している。現在、政務活動費の適正な運用を図るための協議の場を設置する話がでており、各党派とも賛同。きちんと説明していくことが重要と考える。
意見・要望	もっと大勢の参加者がいたらと思う。	駅頭やポスティング等での宣伝は行っている。広聴広報特別委員会を中心に、どのように足を運んでもらうか検討中である。毎回実施しているアンケートの声も含めて、これからも意見をもらっていきたい。
質問	市民の声を生かすシステムやキャッチコピーはあるか。	町の活性化。原点の一つに商店がある。町から商店の火が消えている。現場で頑張っている人たちが大変な状況。自分たちの地域で商業が回らないと活性化は厳しい。
意見・要望	上宿公民館の周辺地域というのは、プレミアム付き商品券が使えるところがない地域である。小平市のよさにサークルや団体の数の多さがあると思う。交通の便が悪いことや、町外れにも目を向けてほしい。	
意見・要望	地元の活性化に向けたきっかけをつくってほしい。	
＜上水南公民館＞		
質問	学園西町にある交番向かいのロータリー近くのごみステーションが汚い。地域住民が苦勞しているようだが、何度指導してもごみの出し方が直らない。おそらく、外国人が時間や分別などを守らないので出し方がひどいのではないかと。今後の対応についてどうか。	確かに当該場所は問題になっており、外国人がごみの出し方がわからないという事実もあるのではないかと。マンションにごみの出し方の外国語版を配付し、注意喚起をしている。また、マンションのオーナーにもアプローチしているところである。植栽がなくなったためごみを置きやすくなったということがあるかもしれないので、その点からも考える必要がある。
意見・要望	殺人事件の報道などを見るにつけ、精神面の障害について医療・福祉関係者の協力を得ることも大事である。精神保健福祉法には緊急保護などについての規定がされている。また、警察の介入も規定されているものの、有効に活用できているとは言いがたい。市内には国立精神・神経医療研究センター病院もあるので条例を制定できないか。	
質問	学園東小学校区で避難所管理運営マニュアルができたと同っているが、議会の意見は入っているのか。また、マニュアルに災害時要援護者対応も含まれているのか。	避難所管理運営マニュアルについて、障害がある方も作成にかかわったと同っている。自治会や野球チームの父母もかかわった。
意見・要望	安心安全のまちづくりについて、動けなくなった場合、介護施設に入所すればよいと考えていた。小平市は要介護者が増加した際に、高齢者が生活する施設についてどのようなビジョンを持っているのか。有料老人ホームに補助を出すなど、方法はさまざまあると思うがどのような話しているのか。	憲法で定める権利について保障するとともに、財政についても健全に保つとともに介護予防、健康寿命の伸長に心がけていきたい。行政、議会とも大きな目標として取り組んでいきたい。地域包括ケアシステムを本年度から構築している。

種類	内 容	議会報告会での回答
意見・要望	<p>地域包括支援センターでボランティアをしても老人ホームに入る優先度が上がらないとなると、どこに希望を見出せばいいのか。待機者の数を斟酌した上で具体的な目標を立て、市民にも負担と給付の関係を明らかにした上で、お互いに身を削り知恵を出し合って対応していただきたい。</p>	
意見・要望	<p>緊急医療体制について、新府中街道の工事が進まないと同っている。救急医療の要は昭和病院だが、アクセスが弱いと認識している。新府中街道はそれを補完する多摩総合医療センターにアクセスする上で重要なポイントなので、市はメリットをもっと前面に押し出し、市民啓発するべきである。</p>	